

ふくい新試験研究炉利活用促進研究会の 今後の進め方について

令和7年3月13日

福井県

新試験研究炉の利活用促進に向けた活動の方向性

県内の企業・研究機関等による研究開発等に新試験研究炉が利活用される土台づくりを進める

利活用に向けた課題

令和7年度

令和8年度以降

地元で中性子を利用できる人材が少ない

・ 講習会や見学会など、知識の習得や企業間交流の機会を提供

・ 地元企業による中性子等の活用事例の共有

・ 中性子利用人材の育成に向けた研修等への参加を支援

・ 既存の利用促進組織への出向支援等による産業利用コーディネータの育成

地元企業単独では中性子等を活用した研究・開発の敷居が高い

・ 相談窓口の設置
・ 既存炉利用の経費補助

・ 支援、補助の実績や利用希望を踏まえた制度拡充の検討

地元企業が利用しやすく、県内産業の発展につながる設備・体制が必要

・ 地元企業のニーズ抽出
・ 利活用に向けた方策の議論

・ 詳細設計等の進捗に応じた要請の実施
・ 研究成果の事業化支援策の検討

令和7年度の具体的な取組み（案）

先進事例等の情報提供

- ・産業利用に関する講演会（2回程度）
- ・地元企業向け講習会（2回程度）
- ・学生向け講習会（4回程度） ※福井大学、福井工業大学、福井県立大学などが対象
- ・既存試験研究炉等への視察ツアー（1回） ※利用体験実習を含む

中性子利用人材の育成

- ・既存試験研究炉等の利用促進機関などが行う中性子利用に関する研修への参加支援

中性子利用への支援

- ・県内企業の課題解決に向けた相談窓口の設置
- ・県内企業による中性子利用等に対する専門家支援（課題解決策提案、実験補助、データ解析・考察等）
- ・県内企業による既存試験研究炉等の利用にかかる経費への補助

国等への提言

- ・地元として必要と考える新試験研究炉の設備や実験装置、関連施設、利用促進体制などに関する地元意見の取りまとめ